



音楽科学習指導案

展開（5／5時間）

ねらい：リズムのつなげ方の特徴に気付き、反復や変化を生かして思いや意図に合ったまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。

準備	ワークシート、音符カード、PC（児童）、ロイロノート（授業支援ソフト）、テレビ、パソコン、iPad（教師）	
時間	資質・能力を育成するための学習活動 ○予想される児童の反応（意識）	
時間	資質・能力を育成するための指導上の留意点 目的 ○手立て、配慮事項 ◇評価	
5分	<p><学習課題の把握></p> <p>1 拍ののって歌ったり、手遊びをしたりする。 「リズムでなかよく」「茶つき」など</p> <p>2 前時を想起する。 T:まとまりのあるリズムにするには？ S:くり返しや変化を使う。</p> <p>3 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて>まとまりのあるリズムをつなげて、グループのリズムの音楽をつくろう。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>音楽の授業に臨む雰囲気をつくるため</p> </div> <p>○既習曲を演奏し、音楽を表現しようとする意欲をもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>まとまりを意識してリズムづくりをできるようにするために</p> </div> <p>○前時に自分や友達がつくったリズムをタブレットやテレビ画面で見せながらリズムのくり返しや変化などの音楽の仕組みを使うとよいことを想起させる。</p> <p>○4分音符と8分音符の組み合わせで、いろいろなまとまりのあるリズムができることを確認させる。</p>
5分	<p><課題の追究></p> <p>4 リズムのつなげ方を全体で確認する。</p> <p>T:何人かのお友達と、つなげてやってみましょう。 自分のリズムを打ってくれる人はいますか？ みんな（もと）→1人→みんな→1人……→みんな ※最初と最後は、みんなで終わることを確認する。</p> <p>T:みんなと1人がどのようになっていますか。</p> <p>S:お話をしているみたい。</p> <p>S:呼びかけと答えになっている。</p> 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>音楽の仕組みを生かして、思いや意図に合ったまとまりのあるグループのリズムの音楽をつくるために</p> </div> <p>○演奏練習をする時間をできるだけ確保し、グループ内で拍の流れを感じ取りやすく、つなげ方の特徴も分かりやすくするために、リズムのつなげ方は、教科書の例（ロンド形式）を全体に示す。</p> <p>○つなげ方の特徴が出されない場合は、「ゆかいな木きん」で学習した音楽の仕組みを思い出させる。</p> <p>○グループ活動がスムーズに行えるように、手順を板書して、説明する。</p> <p><グループのリズムの音楽づくり>進め方</p> <p>①つなげ方（順番）を決める。決まったら、その順番に並ぶ。</p> <p>②ビデオを1台用意して、セットしておく。（ビデオ担当）</p> <p>③つなげて、一度練習をする。（初めの合図の担当「1 2 3 4、せーの」など）</p> <p>④工夫するところを相談して、もう一度練習をする。つなげ方、音の出し方、強弱など</p> <p>⑤工夫したところを発表して、演奏を録画する。</p> <p style="text-align: center;">スタート→工夫したところの発表→演奏→ストップ</p> <p style="text-align: center;">発表担当「私たちのグループは、〇〇を工夫しました。」</p> <p>⑥提出箱に提出する。</p>
5分	<p>5 グループのリズムの音楽をつくる。</p> <p>T:グループ活動の進め方を説明します。</p> <p>T:グループで協力して、つくりましょう。</p> <p>S:だんだん細かいリズムにつなげるといいかな。</p> <p>S:すごく長い音楽ができた。</p> <p>S:1人で打つ時、緊張する。</p> <p>S:演奏が止まっちゃって、つながらない。</p> <p>S:速さがそろわない。</p> <p>S:音の出し方が面白いな。</p> <p>S:足を使って打つても面白そう。</p> <p>S:強弱を付けて打つのもいいな。</p> 	<p>○拍ののってリズムが打てない児童がいてうまくリズムがつかない場合には、教師が拍打ちをして基準となる拍を明確に示し、合わせて練習するようにし、徐々に自分たちだけで拍を感じ取ることができるようにさせる。</p> <p>○よく音を聴きながら、グループみんなと同じように拍を感じ取らせ、楽しみながら表現させる。</p> <p>○グループの音楽を大きなまとまりのあるリズムとしてとらえるようにさせ、つなげ方を考えさせる。</p> <p>○手拍子の鳴らし方や、手以外の部分を使った音の出し方の工夫や強弱など音色に着目させ、表現を楽しむようにさせる。</p> <p>○自分たちのリズムの音楽を録画して、つなげ方や音の出し方など、表現を工夫した部分を聴いて確かめさせる。</p> <p>○発想力・表現力の幅を広げるために、他の演奏を参考にさせる。</p>
10分	<p>6 いくつかのグループの中間発表をみる。 ・発表を参考にして、他にも工夫できるところがないか相談して練習する。</p> <p>7 グループのリズム音楽を完成させる。 ・グループごとに録画して提出し、互いの表現のよさを感じ取る。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>◇評価 リズムのつなげ方の特徴に気付き、反復や変化を生かして思いや意図に合ったまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。<行動観察・演奏聴取・ワークシート> 【技】</p> </div>
10分	<p><まとめ></p> <p>8 手拍子でリズムの振り返りを書く。 S:くり返しや変化を使って長いまとまりのあるリズムができた。 S:音の出し方に変化を付けリズムができた。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>本題材のねらいにそって振り返れるようにするために</p> </div> <p>○ワークシートにくり返しや変化、つなげ方、まとまりなどの音楽の仕組みを意識させて振り返りを書く。</p>